

こころの玉手箱

9月号



「おばあちゃんがいるといいのにな」

9月20日(月)は敬老の日でした。みなさん、日頃お世話になっているおじいちゃん、おばあちゃんに元気な顔を見せることはできましたか。そのきっかけになればと今回は、『おばあちゃんがいるといいのにな』(松田素子作、石倉欣二絵)の絵本の朗読を聞いて、考えました。



☆ 1年生 ☆

- ☆ おじいちゃんやおばあちゃんがいてくれるのは当たり前じゃないことがわかりました。いつもおばあちゃんちに行ったら温かく迎えてくれるけど、いつかはそれもなくなってしまふんだなと思うと悲しいです。そんなおばあちゃんたちと過ごせる1日1日を大切にしていきたいと思います。
- ☆ この本で出てくる「ぼく」と同じで、私もおばあちゃんが好きです。だからありがたいとかの感謝を伝えてあげたいです。今の時間を大切にしていきたいです。
- ☆ この話を聞いて、何かをしてもらうのではなく、おばあちゃんはいてくれるだけでいいと改めて感じました。これからは今まで以上におばあちゃんを大切にしたいです。
- ☆ おばあちゃんはいつも優しく、いつもご飯を作ってくれます。看病もしてくれたり、本当に親切な人なので、敬老の日ではしっかり笑顔を見せたいです。

☆ 2年生 ☆

- ☆ 私のおばあさんは明るい性格で友達も多いです。今もやっているのが料理と一緒に作ることです。これからも、ずっと元気でして欲しいという気持ちが大きくなりました。
- ☆ 毎日、おばあちゃんの家でおばあちゃんが作ってくれた夜ご飯を食べているけれど、今度からもっと味わって感謝して食べていきたいです。また、もっと長い時間みたいです。
- ☆ 私のおばあちゃんはいつも笑顔だけど、この話のおばあちゃんみたいにテレビのチャンネルを変えると、コクコクッと居眠りをします。20日の敬老の日には、おばあちゃんの中学校時代の思い出を聞きたいと思います。
- ☆ おばあちゃんがいると、謎の安心感があってホワホワします。そんなおばあちゃんが死んでしまうなんて考えるだけでも涙が出てしまいます。

☆ 3年生 ☆

- ☆ 私の家とおばあちゃんの家はつながっていて、いつも帰るとおじいちゃんとおばあちゃんが笑顔で「お帰り」と言ってくれすごくホッとします。わたしにとっておばあちゃん、おじいちゃんはすごく必要な存在なので隣にいてくれて嬉しいです。
- ☆ この絵本の主人公の子は、本当におばあちゃんが好きでおばあちゃんっ子だったんだなと思いました。日頃の感謝が伝えられなくなる前にきちんと話してあげられるようその機会をつくろうと思います。
- ☆ 私のおじいちゃんはいっぱい私と遊んでくれました。いろんな所につれていってくれたりおいしいものをたくさん食べさせてくれました。私の成人式を絶対見ると言っていたのに小学校の卒業式の日になくなりました。卒業証書すら見せてあげられませんでした。全然おじいちゃんにありがとうも言えていなかったの、今は何に対しても感謝の気持ちを伝えようとしています。

お子様と意見を交換して、感想などをお気軽にお寄せください。

-----切り取り線-----

保護者返信欄 (お子さんを通じて担任までお渡し下さい。)

保護者からの声 『ペットの命を守るためには』

- 軽はずみで、動物を飼わないことが動物に対する愛情だと思います。動物に対しての、環境、知識、費用、愛情などいろいろな条件が揃って、初めて動物を飼うことが出来ると思います。動物の心を守ってあげれるのは人間です。愛情をもって育ててあげることが大切です。

いつもご返信ありがとうございます。